

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【公表番号】特表2015-526812(P2015-526812A)
【公表日】平成27年9月10日(2015.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2015-057
【出願番号】特願2015-524262(P2015-524262)
【国際特許分類】

G 0 5 B 23/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 5 B 23/02 3 0 1 X

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月6日(2016.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタル制御システムでアナログプロセス警報を構成するための方法であって、
前記デジタル制御システム内で、1つまたは複数のテンプレートを作成するステップであり、各テンプレートが、アナログプロセス変数に関連する対応する1つまたは複数のアナログ警報副変数の1つまたは複数のエイリアス名を含む、ステップと、

ヒューマンマシンインターフェースを介して、前記デジタル制御システム内の前記アナログプロセス変数に関連する処理ロジックを視覚化するアナログ警報仮想ブロック図をユーザに提供するステップと、

前記1つまたは複数のテンプレートからテンプレートを選択するための要求を前記ユーザから受信するステップと、

アナログ警報副変数の名称の異なる部分の置換えを用いて、前記テンプレートの選択に基づいて、前記アナログプロセス警報の前記対応する1つまたは複数のアナログ警報副変数の前記1つまたは複数のエイリアス名を自動的に生成するステップであり、前記1つまたは複数のエイリアス名が前記アナログプロセス変数で直接に定義される、ステップとを含む、方法。

【請求項2】

警報条件が生じたことを判定するステップと、

前記判定に基づいて、前記デジタル制御システムのオペレータに1つまたは複数の通知を選択的に提供するステップと、
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記警報条件が生じたという前記判定に基づいて、プロセスの有効化、セットポイント値の提供、時間遅延値の提供、および警報フラグ変数の設定のアクションのうちの1つまたは複数のアクションを実行するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記警報条件が、予期せぬ動作値を含む、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記1つまたは複数の通知が、音声、表示灯、および警報リストのうちの1つまたは複数を含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 6】

前記テンプレートの作成が、
オペレータに、構成ダイアログボックスを提供するステップと、
前記オペレータから、前記副変数の前記 1 つまたは複数のエイリアス名を含む入力データを受信するステップと、
前記 1 つまたは複数のエイリアス名をデジタル制御システムデータベースに保存するステップと、
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記副変数が、入力と、出力と、パラメータとのアナログ警報プロパティのうちの 1 つまたは複数のアナログ警報プロパティと関連し、前記オペレータは、前記構成ダイアログボックスを使用してアナログ警報プロパティを設定することができる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 1 つまたは複数のエイリアス名が、特定の命名規則と対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 1 つまたは複数のテンプレートの各々が、特定の命名規則に対応する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記アナログ警報仮想ブロック図が、インテリジェントブロック形状を有するブロックの形で提供される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

デジタル制御システムでアナログプロセス警報を構成するためのシステムであって、
前記デジタル制御システム内で 1 つまたは複数のテンプレートを作成するように構成されたロジックエディタであり、各テンプレートが、アナログプロセス変数に関連する対応する 1 つまたは複数のアナログ警報副変数の 1 つまたは複数のエイリアス名を含む、ロジックエディタと、
前記デジタル制御システム内の前記アナログプロセス変数に関連する処理ロジックを視覚化するアナログ警報仮想ブロック図をユーザに提供するように、および前記 1 つまたは複数のテンプレートからテンプレートを選択するための要求を前記ユーザから受信するように構成された、ヒューマンマシンインターフェースと、
アナログ警報副変数の名称の異なる部分の置換えを用いて、前記テンプレートの選択に基づいて、前記アナログプロセス警報の前記対応する 1 つまたは複数のアナログ警報副変数の前記 1 つまたは複数のエイリアス名を自動的に生成するように構成されたテンプレートジェネレータであり、前記 1 つまたは複数のエイリアス名が前記アナログプロセス変数で直接に定義される、テンプレートジェネレータと、
を備える、システム。

【請求項 12】

前記アナログプロセス変数に関連する前記処理ロジックが、警報条件が生じたことを判定するものであり、前記判定に基づいて、前記デジタル制御システムのオペレータに 1 つまたは複数の通知を選択的に提供する、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記アナログプロセスに関連する前記処理ロジックが、プロセスの有効化、セットポイント値の提供、時間遅延値の提供、および警報フラグ変数の設定のアクションのうちの 1 つまたは複数のアクションを実行するようにさらに構成された、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記警報条件が、予期せぬ動作値を含む、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記 1 つまたは複数の通知が、音声、表示灯、および警報リストのうちの 1 つまたは複数を含む、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記テンプレートジェネレータが、

オペレータに構成ダイアログボックスを提供する、

前記オペレータから、前記副変数の前記 1 つまたは複数のエイリアス名を含む入力データを受信する、および、

前記 1 つまたは複数のエイリアス名をデジタル制御システムデータベースに保存するように構成された、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

前記副変数が、入力と、出力と、パラメータとのアナログ警報プロパティのうちの 1 つまたは複数のアナログ警報プロパティに関連し、前記オペレータは、前記構成ダイアログボックスを使用して前記アナログ警報プロパティを設定することができる、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記 1 つまたは複数のエイリアス名が、特定の命名規則に対応する、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記 1 つまたは複数のテンプレートの各々が、特定の命名規則に対応する、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 2 0】

1 つまたは複数のプロセッサによって実行されるときに、前記 1 つまたは複数のプロセッサに

デジタル制御システム内で、1 つまたは複数のテンプレートを作成するステップであり、各テンプレートが、アナログプロセス変数に関連する対応する 1 つまたは複数のアナログ警報副変数の 1 つまたは複数のエイリアス名を含む、ステップと、

ユーザに、ヒューマンマシンインターフェースを介して、前記デジタル制御システム内の前記アナログプロセス変数に関連する処理ロジックを視覚化するアナログ警報仮想ブロック図を提供するステップと、

前記 1 つまたは複数のテンプレートからテンプレートを選択するための要求を前記ユーザから受信するステップと、

アナログ警報副変数の名称の異なる部分の置換えを用いて、前記テンプレートの選択に基づいて、アナログプロセス警報の前記対応する 1 つまたは複数のアナログ警報副変数の前記 1 つまたは複数のエイリアス名を自動的に生成するステップであり、前記 1 つまたは複数のエイリアス名が前記アナログプロセス変数で直接に定義される、ステップと、を前記 1 つまたは複数のプロセッサに行わせる、前記デジタル制御システム内で前記アナログプロセス警報を構成するための命令を有する、非一時的プロセッサ可読媒体。